

## 2022 年 3 月期決算について

株式会社ソラシドエア(本社:宮崎県宮崎市 代表取締役社長:高橋 宏輔)は、本日 5 月 30 日(月)、2022 年 3 月期の決算を取りまとめました。詳細につきましては、別紙「2022 年 3 月期決算短信」をご参照ください。

### 1. 2022 年 3 月期の業績

#### (1) 概況

当事業年度における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症による厳しい状況が徐々に緩和される中、個人消費に持ち直しの動きがみられました。

航空業界においては、引き続き感染者数の動向や政府の緊急事態宣言・まん延防止等重点措置に伴う都道府県を跨ぐ移動の自粛要請に大きく影響を受ける状況となりました。昨年10月以降、緊急事態宣言やまん延防止等重点措置の解除を受け、利用客は徐々に回復の兆しがみえてきましたが、今年1月に入り、再度まん延防止等重点措置が発令され、再び減少に転じました。まん延防止等重点措置が解除された3月22日以降は、回復傾向にあるものの、未だ新型コロナウイルス感染症の収束時期は見通せず、不透明な状況が続いています。

当社においても、新型コロナウイルス感染症拡大の長期化の影響を受け、厳しい状況で推移したものの、引き続き公共交通機関としての使命である安定的な航空ネットワークと顧客利便性の維持を前提に、需要に応じた生産量の弾力的な運用を行って変動費の最小化を図りました。さらに、固定費についても徹底した経費削減等の施策の取り組みを継続したことにより、前事業年度と比較すると回復傾向となりました。

営業・サービス面では、株式会社AIRDOとの協業の一環として、北海道と九州沖縄の旅をより気軽に楽しんでいただける共同キャンペーンを行いました。また、「九州・沖縄の翼」として、地域社会および地域経済活性化への貢献を実現すべく、地元とともにつながりを創る新組織の設立や地元とともに新しい価値を創造する新規事業「空陸一貫 高速小口貨物輸送事業」をスタートさせるなど、厳しい環境下においても地元との連携強化を図りました。その他、持続可能な社会の実現を目指すSDGsの取り組みの一環として、機内で使用されていたシートカバーを有効活用する取り組みを始めました。また、地球環境保全に配慮した取り組みとして、機内ドリンク用紙コップを『間伐材』へ変更し、付属のフタ・ストローはプラスチック素材から紙素材へ変更いたしました。これからも地球環境保全に向けた取り組みを図り、地球にやさしい愛されるエアラインを目指してまいります。

当社は、英国の航空データ分析を提供するCIRIUMのThe On-Time Performance Award 2021の運航実績において、「定時到着率 97.9%」と非常に機材稼働率の高いオペレーションが評価され、LCC カテゴリー(※1)で世界ランキング 1 位となりました。ご搭乗いただくお客様のご予定を大切にしたいという想いから、利便性と定時性を意識したダイヤ設定・安全運航を前提とした飛行計画の工夫・各空港での作業時間の管理・継続的な定時性向上活動など、社員一丸となって様々な取り組みに努めております。今後も、当社のブランドプロミス「空から笑顔の種をまく。」のもと、お客様に笑顔で安心してご搭乗いただくために、引き続き、安全運航を第一に定時運航・品質向上に努めてまいります。

(※1) 当社は、LCCと謳っておりませんが、CIRIUMの調査においては、単一機種の運航等で効率的ビジネスモデルを採用している航空会社という広義でのLCCカテゴリーに含まれています。

## (2) 業績状況

当事業年度の業績は、営業収入が 26,102 百万円(前事業年度比 28.8%増)となりました。事業費は 28,899 百万円(同 4.8%増)、販売費及び一般管理費は 3,433 百万円(同 6.9%増)となり、営業損失は 6,230 百万円(同 40.7%減)となりました。

営業外収益 1,005 百万円及び営業外費用 162 百万円を加減した経常損失は 5,386 百万円(同 44.1%減)となりました。税引前当期純損失は 5,386 百万円(同 44.1%減)、当期純損失は 2,939 百万円(同 61.7%減)となりました。

【営業業績】	2022 年 3 月期	2021 年 3 月期	増減	前年同期増減比
営業収入 (百万円)	26,102	20,255	5,847	28.8
営業費用 (百万円)	32,332	30,764	1,568	5.0
営業利益 (百万円)	△6,230	△10,509	4,279	—
営業利益率 (%)	△23.8	△51.8	—	—
経常利益 (百万円)	△5,386	△9,649	4,262	—
当期純利益 (百万円)	△2,939	△7,694	4,755	—

注) 普通株式に係る配当については見送りを予定しております。

## (3) 財政状況

【財務状況】	2022 年 3 月期	2021 年 3 月期	増減
総資産 (百万円)	43,608	41,302	2,306
純資産 (百万円)	6,444	5,751	692
1 株当たり純資産額 (円)	18,223.40	27,059.80	△8,836.40
自己資本比率 (%)	14.7	13.9	0.8

## (4) 運航実績・輸送実績

運航面では、引き続き需要に応じた運休・減便を行ったものの運航便数は前事業年度を上回る 25,426 便(前年同期比 36.3%増)となりました。

【運航実績】	2022 年 3 月期	2021 年 3 月期	増減
運航便数 (便)	25,426	18,660	6,766
欠航便数 (便)	170	202	△32
就航率 (%)	99.3	98.9	0.4
定時出発率 (%)	97.7	98.9	△1.2



輸送実績は、提供座席数 2,931,500 席(前年同期比 54.3%増)、有償旅客数 1,123,067 人(同 70.3%増)、有償座席利用率 40.0%(前年同期 34.9%)となりました。

【輸送実績】 *コードシェア販売分を除く	2022年3月期	2021年3月期	増減
提供座席数 (席)	2,931,500	1,900,102	1,031,398
有償旅客数 (人)	1,123,067	659,609	463,458
提供座席キロ (千席・キロ)	3,186,168	1,979,585	1,206,583
有償旅客キロ (千人・キロ)	1,273,769	691,090	582,679
有償座席利用率 (%)	40.0	34.9	5.1

## 2. 今後の見通し

新型コロナウイルス感染症拡大の長期化や不安定な海外情勢の影響、燃油価格の上昇や為替変動リスクなどにより、業績の見通しは依然不透明であり、現時点での収支の予想は非常に困難であることから、予想値の公表を見送ることとしました。業績予想の開示が可能となった段階で速やかに公表いたします。

以上



<参考資料>

(数値は全て%)

路線別輸送実績 *コードシェア販売分を除く		有償座席利用率 (前事業年度値)	提供座席数 前事業年度増減比	有償旅客数 前事業年度増減比
東京	— 宮崎	29.1 (27.0)	33.8	43.9
	— 熊本	37.0 (35.6)	52.0	58.0
	— 長崎	32.9 (33.1)	44.4	43.5
	— 鹿児島	53.3 (38.2)	16.6	62.8
	— 大分	31.0 (30.2)	42.6	46.5
	— 沖縄	52.2 (59.3)	3,778.8	3,317.1
	小計	39.6 (33.0)	57.7	84.8
沖縄	— 宮崎	27.7 (22.3)	8.2	34.5
	— 鹿児島	34.8 (33.5)	30.6	35.5
	— 神戸	56.7 (54.3)	37.6	43.9
	— 名古屋	38.1 (27.1)	△18.8	14.3
	— 石垣	26.2 (42.6)	365.5	186.2
	— 福岡	32.2 (40.0)	60.8	29.7
	小計	41.4 (40.2)	62.8	54.8
名古屋	— 宮崎	48.4 (32.1)	△5.4	42.6
	— 鹿児島	39.3 (59.2)	△34.5	△56.5
	小計	43.5 (49.0)	△22.5	△29.3
全路線合計		40.0 (34.9)	54.3	70.3

